

令和3年度実施分

協働事業・市民活動助成事業

報告シート



松 戸 市

## はじめに

松戸市では、「豊かで活力ある地域社会の実現」をめざして、市民及び市民活動団体、民間事業者と市による「協働のまちづくり」を推進しております。

その支援として、市民活動団体・民間事業者の活力を活かし、市と事業の企画から実施までを協力して行う「協働事業提案制度」と、新たな市民活動の立ち上げや既存の活動を発展させる「市民活動助成制度」があります。

### 【協働事業提案制度】

協働事業は、市民活動団体や民間事業者と行政のそれぞれが強みの部分を活かし、身近にある地域課題の解決に向けて、協力して実施する事業です。

協働事業提案制度は、市民活動団体や民間事業者が、協働事業を提案し、市と協力して、その事業を企画し、実施する制度です。

令和3年度は3事業実施しました。

### 【市民活動助成制度】

新たな市民活動を立ち上げるため、又は、既存の活動をさらに発展させるための事業に要する一時的な資金を助成することで、市民活動の活性化を図り、豊かで活力ある地域社会の実現に貢献することを目的とします。

新しく事業を立ち上げるときや、今行っている事業を発展させたいときに提案できる「スタート助成（助成上限額 10 万円）」と、既存事業を拡大、発展させたいときに提案できる「ステップアップ助成（助成上限額 30 万円）」の2つの部門を設けております。

令和3年度は17事業（スタート助成14事業、ステップアップ助成3事業）実施しました。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりほとんど活動できなかった事業については掲載していません。

# 目 次

## 令和3年度協働事業・市民活動助成事業 事業概要

【協働事業】	ページ
○ 「まつどの介護」プロモーション事業	特定非営利活動法人 SmileResource 介護保険課 1
○ 料理教室を通じた父親の意識改革事業	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル 男女共同参画課 2
○ 松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業	まつどのこもりかた。編集部 広報広聴課 シティプロモーション担当室 3
【市民活動助成事業（スタート助成）】	ページ
○ みんなで育て、みんなで作る 沿道での食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム 4
○ 居場所提供と家出女性保護事業	NPO法人仮り暮らし 5
○ 冒険山開放に伴う見守り事業	冒険山開放委員会 6
○ 発達障がい・不登校の親の会事業	発達障がい児の子育て会 あんだんて 7
○ 働くおとなのホッとできる居場所づくり事業	まちなす・Labo/Friends 8
○ 食のセーフティネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消事業	まつどフードバンク 9
○ [生きづらさ・ひきこもり]からだ&こころに栄養を あたえる場づくり事業	生きづらわーほりプロジェクト 10
○ 各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業	北小金ドリームプロジェクト 11
○ 坂川水系自然環境向上事業	坂川の花桃を愛する会 12
○ 松戸市民向けSDGs普及啓発事業	まつど地域活躍塾つながりの会 13
○ 松戸市町会PR動画制作事業	できる街プロジェクト 14
○ 松戸市ご当地アニメ制作事業	超普通スタジオ 15
○ いきいき体操事業	特定非営利活動法人 アイギス 16
【市民活動助成事業（ステップアップ助成）】	ページ
○ 全ての命を大切にして、人との繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業	松戸地域猫スタートサポート 17
○ 親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業	なないろのもり 18
○ プレママ教室事業	ぶぶがママ大学 19
● 協働のまちづくり基金について	20
● 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(令和3年度)	21

「まつどの介護」 プロモーション事業	団体名	特定非営利活動法人 SmileResource
	事業担当課	介護保険課

事業費	260,053 円	自己資金	26,006 円	負担金	234,047 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

### 令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】

「松戸市の介護制度を動画にしよう！」から始まったこの事業の初年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中での活動となりました。感染予防対策から撮影対象の“事業所に撮影に入れない”“ボランティアさんを集めての活動ができない”等の課題があり、思い描いていた活動はできたとはいえませんが、事業目的である「介護制度の動画制作」及び「若者と協同しての活動」は実施できました。

予定していた動画制作数はコロナ禍による活動自粛等があり達成できませんでしたが、事業担当課の皆さんと相談しながら、計8本の動画を制作しています。

ボランティアさんに関しては、介護に興味がある学生さんや介護の学校に通っている学生さんらに声かけを行い協力いただくことで、出演から制作面での活動をいただいています。



### 令和3年度（2021年度）事業の成果

目標に対する成果を報告させていただきます。

#### ①介護保険サービスを種別ごとに5～10分程度のPVとして制作

目標：大よそ30種別中10～14本程度

結果：8本

#### ②介護を学ぶ学生及び動画制作に興味ある学生ボランティアの参画

目標：1クールは（半年）ごとに、4～6名程度を募集

結果：学生ボランティア2名、介護に興味ある一般ボランティア4名（通年）

#### ③完成したPVの上映会を開催

目標：1回

結果：市内中学校2校の学生さんらに2回上映

### 【団体紹介】

私たちは“介護離職0の社会を目指して、令和2年から活動しているNPO法人です。動画制作のほか、介護者及び高齢者サポートのセミナーやイベントを開催しています。どこかで「スマイルリソース」というNPO名を見かけたら是非お声かけください。

《問合せ先》

NPO法人 SmileResource 松戸市旭町 4-1140-3/TEL)090-2722-2692/mail) smilenpo3@gmaile.com  
HP)http://smilersource.jimdosite.com

料理教室を通じた 父親の意識改革事業	団体名	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュラル
	事業担当課	男女共同参画課

事業費	325,432円	自己資金	52,875円	負担金	272,557円
-----	----------	------	---------	-----	----------

### 令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】

父親が主体的に家事・育児へ参加するきっかけづくりと、男女は対等なパートナーであることの理解促進のために、調理イベント（2.5時間）＋ワークショップ（30分）の【父と子のお菓子づくり体験教室】を4回開催しました。

料理講習として父親と子どもと一緒に料理をする機会を提供し、あわせて、父親としての家庭参画、家事や子育てについて考えました。

- 第1回：ヨーグルトとベリーのアーチーズケーキ
- 第2回：クレープ バニラ&ショコラのクリーム
- 第3回：スノーボールクッキー&チョコレートムース
- 第4回：オレンジのパナコッタ&サラミチョコレート

第1回 父と子のお菓子づくり体験教室【令和3年度】



### 令和3年度（2021年度）事業の成果

4回開催とも定員を超える申込があり、関心を持っていただけました。

各回10組20～25名の参加者目標については、当日のキャンセルは想定内とし、ほぼ達成しました。

目標：参加人数 全4回 40組80名 結果：33組80名

ワークショップでは家庭での父親の役割についての意見交換を通して、男女は対等なパートナーであることの理解促進をし、アンケート結果により、家事・育児に関する考え方の変化がみられました。

\*調理を通して父と子の関係が深まり、家庭に持ち帰って家族で食べる事で、父親の家庭参加のきっかけづくりができ、男性の家事・育児への心象的なハードルを下げる事ができました。

### 【団体紹介】

MAISON IZARRA Oyatsu labo \* T naturel メゾン イザラおやつラボ\*テ ナチュラル  
料理教室を通じて『手作りの楽しさと、食の大切さ』を伝える活動と、  
社会の根っこである家族の絆になるきっかけづくりを行います。

《問合せ先》

MAISON IZARRA Oyatsu labo \* T naturel

Mail: izarra@orion.ocn.ne.jp http://izarra.chagasi.com 担当：笠井

松戸のイメージ向上のための コミュニケーション事業	団体名	まつどのこもりかた。編集部
	事業担当課	総合政策部 広報広聴課 シティプロモーション担当室

事業費	244,549 円	自己資金	48,755 円	負担金	195,794 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

### 令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】

#### WEBサイト「まつどのこもりかた。」の記事作成

##### ① WEBサイト(Twitter、Instagram含む)公開まで

松戸にどのような魅力があるか、WEB上ではもちろん現地に足を運んで目で確かめ、若者目線で松戸のイメージ向上につながるようなお店やそこで働く人にスポットをあてて調査をします。

見つけたお店などに対して取材交渉を行い、数回の打ち合わせとやり取りを経てプロのカメラマンが撮影いたします。撮影した数百枚の写真から厳選して記事をまとめて公開しています。

##### ②Webサイト「まつどのこもりかた。」の周知

- ・ SNSでの本サイト更新情報の発信（2021年度各月）
- ・ 聖徳大学へチラシ設置（2021年7月）
- ・ まつどやさしい暮らしラボ掲載（2021年9月1日）



### 令和3年度（2021年度）事業の成果

目標：TwitterとInstagramのフォロワー数合計1,000件以上

結果：1059件（Twitter：239、Instagram：820）

出演者の不足やコロナウイルス感染予防対策による飲食店休業などによって、調整する部分も多くあったが、目標であるSNSフォロワー数1,000件（Instagram：820、Twitter：239）を超え、589件の新規フォロワーを獲得することができた。

また、各SNSに松戸市民から「いいね」や「コメント」をもらい、相互的なコミュニケーションを図ることができたため、イメージアップにつながったと考える。

#### 【団体紹介】

まつどのこもりかた。編集部は松戸で育ち、松戸を愛してやまない20代3名からなる団体です。なかなか表に出てこない松戸の魅力を発掘し、WEBを中心として記事制作とSNS発信をしております

#### 《問合せ先》

まつどのこもりかた。編集部

matsudonokomorikata@gmail.com

<https://matsudonokomorikata.com/>

代表：伊藤弘樹

<p>みんなで育て、 みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業</p>	<p>団体名</p>	<p>エディブルウェイ プロジェクトチーム</p>
--	------------	-------------------------------

<p>事業費 119,474 円</p>	<p>自己資金 19,474 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

沿道の住宅や店舗前のスペースに、お揃いのプランターを設置し、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」づくりや、植物を使ったクラフトづくりを行うことで、地域環境を学び合う場づくりや、住民の交流のきっかけづくり、関係構築を図る活動です。



植え替え講座

① プランターへ苗植え講座開催と植え替え活動（4-6月・9-10月）  
堆肥づくり講座、植え替え講座を実施。植え替えは、メンバーが各自行い、高齢者宅など必要に応じてコアメンバー、ボランティアがサポートを行った。12月は、プランターに設置しているクラフトサイン（トムテ）の修理作業を行なった。



クラフト・アートWS

② 子どもと一緒にクラフト・アートワークショップ（6・12月開催）  
6月は、畑や庭のハーブを使ったバスボムづくり、12月には、木の枝を使ったクラフト（トムテ）づくりワークショップを開催した。

③ ハーブクラフトワークショップ（7月）：畑や庭のハーブを使ったアロマバスソルトづくりワークショップを開催した。（3月は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）



ハーブクラフトWS

④ 毎月活動レポートを掲載した瓦版とお手紙の発行、地域各所で配布。  
⑤ 活動報告レポートを参加者へ配布。季節の振り返り・次期の植え替えの意向についてアンケートを実施。

**令和3年度（2021年度）事業の成果**

今年度も、クラフトサイン（トムテ）が好評であり、お子さんとクラフトを見て歩いたというお話を聞く等、沿道で見て楽しむ、歩く楽しみを提供する目標はある程度達成できたと思います。

プランターの新規設置は、2箇所、プランター3個となりました。ワークショップへは、エディブルウェイ参加者以外の方や対象地域以外の松戸市内の方にも参加していただくことができ、プロジェクトの紹介をすることができました。瓦版を店頭で手にした方が、ワークショップに参加してくださったり、ワークショップへの参加をきっかけに、来年度春からのプランター活動に参加していただける方がいて、それぞれの活動のつながりも出てきています。

**【団体紹介】** JR松戸駅から千葉大学松戸キャンパスまでの約1kmのエリアで、沿道から見える民地で、お揃いのプランターを用いて地先園芸的に野菜やハーブを育て「エディブル・ランドスケープ（食べられる景観）」をつくる活動や、植物を使ったものづくり活動を通して、人びとのコミュニケーションを生み出すことを目的に活動を行っています。※沿道のプランターの植物は各家庭で大切に育てています。摘み取りなどをご遠慮いただき、気になる方はオーナーさんにお声かけ下さい。

《問合せ先》エディブルウェイプロジェクトチーム

[メール] info@edibleway.org [HP] http://edibleway.org/ [Instagram]@edible.way

[Facebook] https://www.facebook.com/edibleway 担当：江口

居場所提供と家出女性保護事業	団体名	NPO 法人仮り暮らし
----------------	-----	-------------

事業費	462,578 円	自己資金	362,578 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	-----------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

居場所提供（相談対応の場も兼ねる）については、対面相談や適切な相談窓口を案内・同行しました。また、長時間居心地よく過ごせるよう、漫画や備品の数を増やすなど環境を整えました。

家出女性保護事業については、相談者（10代から30代までの女性）から相談を受け次第、松戸市内に構えるシェルターに保護し、ご家族との和解や自立ができるようになるまで生活を共にしました。家庭復帰・自立支援については、ご家族様との話し合いを促し、家族との会話の橋渡しをしたり、基幹相談支援センターなど他の支援機関と連携し、次の住まいを確保する手助けをしたりしました。

相談支援については、LINE やメール、漫画カフェでの対面相談で、相談者の悩みについて適切な相談窓口を案内したり、気持ちの吐露だけで十分な場合には単なる話し相手になるなどしました。



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

居場所提供（相談対応の場も兼ねる）については、平均して2名／月の利用者数でした。また、相談者の抱える、相談窓口に対する「どうせ話を聞いてくれない」「相談しても無駄」だというネガティブイメージを払拭するとともに、相談者が継続して相談できる環境を作りました。

家出女性保護事業および家庭復帰・自立支援については、本年度は6名の女性を保護し、4名が家庭に復帰、1名が賃貸物件にて一人暮らしを開始し、1名は一人暮らしに向けて宿泊・生活訓練中です。

相談支援については、昨年度に引き続いて100件超の相談件数がございました。

**【団体紹介】**

この法人は、広く一般市民を対象として、保護を必要とする子どもの保護、保護した子どもとその家族の心身のケア、および非正規労働者への職の提供を行うことによって子どもの健全な育成と、非正規労働者への安定した労働環境の提供、就業支援を目的とする。

《問合せ先》

NPO 法人仮り暮らし 松戸市稔台 7-62-1 針ビル 102号

info@karigurashi.or.jp、https://karigurashi.or.jp、徳永晃代

冒険山開放に伴う見守り事業	団体名	冒険山開放委員会
---------------	-----	----------

事業費	142,030 円	自己資金	42,030 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

- ① 小金北小学校冒険山見守り活動（年間）  
毎月第一、第二日曜日 13時から16時まで 年間17回実施
- ② オンラインセミナー「子どもと遊び」 実施日令和3年11月23日  
（講演会はコロナウイルス感染症対策のためオンラインセミナーとして実施）  
講師千葉県スクールカウンセラー研修講師 大久保俊輝氏 テーマ「子どもと遊び」
- ③ 焼き芋の集い 実施日令和3年11月9日 中金杉浅間公園にて 112名の子どもが参加
- ④ 凧揚げ大会 実施日令和4年1月9日 東洋学園大学グラウンド（流山市緒ヶ崎）  
57名の子どもが参加  
（イベントはいずれも近隣自治会掲示板、セブンイレブン、郵便局などに掲示）



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

・目標の達成と課題の解決について

目標① イベントを強化することによって遊ぶ楽しさ、を子どもたちに理解してもらい普段の開放日の参加者の増加を図る。（結果）コロナ禍の影響を受け参加者の増加はできなかった。

目標② 継続的な事業の展開を目指すため見守り隊の人員体制の強化を行う。

現体制の19名を25名にする。（結果）1名の増加のみ。積極的なアプローチ不足

・焼き芋の集い、凧揚げ大会は参加者も予想を超えて手ごたえを感じた。

**【団体紹介】**

「子どもたちの健やかな成長を願って」を理念とし冒険山開放委員会を令和元年6月に発足。子どもたちは自然から学び、遊びから学ぶ。見守り活動によって学びの機会を提供し、子どもたちを支えようという志を持った団体。

《問合せ先》

冒険山開放委員会・総務担当 石崎建夫 連絡先 090-2437-4313

冒険山開放委員会 公式



<p>発達障がい・不登校の親の会 事業</p>	<p>団体名</p>	<p>発達障がい児の子育て会あんだんて</p>
-----------------------------	------------	-------------------------

<p>事業費 133,201円</p>	<p>自己資金 40,100円</p>	<p>助成金 93,101円</p>
---------------------	---------------------	--------------------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

実施内容

（1）松戸駅西口の子どもの居場所「さくら広場」を利用し、情報交換・おしゃべり会を行った。月1回という目標以上に要望があったため月2回行った。

（2）7月に新型コロナ対策を行いつつ、江戸川河川敷にてピクニックイベントを行った。

また親子でおしゃべり会に参加したい方も増えたため、親子おしゃべり会を実施（2回）



（3）発達障がい・不登校・ホームスクーリング等、スペシャルニーズの子育てに関わる方を対象とした勉強会を行う。

→松戸市パートナー事業を利用した特別支援学級の選び方等の講演・市内フリースクールの代表を招いての講演会、おしゃべり会などを開催した。

（4）市内の保育所・幼稚園214箇所にチラシを送付。また市内の市民センターにてチラシの掲示を積極的に行った。

**令和3年度（2021年度）事業の成果**

事業の目標① 発達障害の子育ては通常の子育てに比べて大変さが多いので、そこを保護者同士で励ましあいながら、仲間づくりをする。

結果：発達障害児の子育ては発達障害と診断されてまもない保護者や、もしかしてそうかもしれないと悩む保護者、また学齢期（それも高学年や中学生）に入ってから診断された保護者など、様々な月齢の子の保護者の参加があった。市民自治課のパネル展や、市民活動登録団体としてのチラシの配架など、積極的に活動ができたことで、会を知り、仲間づくりをする様子が見られ、目標の達成につながった。

事業の目標② 新規の参加者が前年度より2倍になるようにする（10名以上）

結果：保育園・幼稚園にチラシを送付し、掲示を依頼した。そのチラシを見て来てくださった新規の方が5名。市役所・市民センターの掲示を見て来てくれた方が3名。10名以上には届かなかったが、新規で来てくれた方が、繰り返し来てくれていることを見ると、必要な方に情報が届いたと言える。

**【団体紹介】**

発達障害や不登校、その他見えにくい障害を持つ子の子育てをしている保護者を対象に、毎月定期的なおしゃべり会（情報交換会）や勉強会、親子レクリエーションを行なっている。最近では発達障害を持つ子の不登校や不登園、いきしぶりなどの悩みも多く、会に参加する保護者の範囲は拡大している。

《問合せ先》

あんだんて

andante.step@gmail.com

<https://ameblo.jp/andantestepulula/>

担当：日置

<p>働くおとなのホッとできる居場所づくり事業</p>	<p>団体名</p>	<p>まちなす・Labo/Friends</p>
-----------------------------	------------	--------------------------

<p>事業費 77,118 円</p>	<p>自己資金 9,825 円</p>	<p>助成金 67,293 円</p>
---------------------	---------------------	---------------------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

新型コロナ感染の影響により、開催時期が遅延することもあったが、状況に合わせて事業内容の修正などを行い実施。感染拡大予防対策のためにオンラインサロンを企画・実施し、リアル開催においては人数制限をするなどして感染対策をして10月～「働くひとのまちなか保健室」を開催し、ミニ講座「瞑想体験会」を実施した。イベントとしては、エッセンシャルワーカーといった専門職にターゲットにしたイベント「コミュニティコーピング体験会」を実施することができた。なお、ハンドマッサージと当日提供する飲み物は、参加者からご意見いただき、自粛することもあった。



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

コロナ禍において、状況に合わせて計画を変更し、実施を試みたが、実際には課題や事業の目的に対して、目に見える成果は少なく、目標達成には至らなかった。まちなか保健室への周知・関心を広めることを期待し、ミニ講座「瞑想体験会」を企画し、実際に体験してみたいという方が利用してくださった。イベントに参加してくれた方においては、専門職同士の繋がりや会話をすることで、気分転換や安心に繋がったとの感想や「参加してよかった」との声をいただき、横の繋がりづくりに貢献できたと考える。また、チラシの配架に対して保健センターや介護保険課・高齢者支援課に協力していただくことで、少しでも多くの方に情報を届けることができたのではと考える。

事業名	実施回数	参加者数
働くひとのまちなか保健室	4回	6名
イベント	1回	6名
オンライン保健室	4回	4人
オンライン相談	—	10人

**【団体紹介】**

健康・未病・セルフケアをテーマに活動している。学校にある「保健室」のような機能を持ち、癒しと安心が得られる居場所づくりを心掛けている看護師を中心とした団体。

《問合せ先》

まちなす・Labo/Friends：【電話】090-8500-7512（平日9～17時）【担当者】コウダ

【Eメール】machinaka.nurse@gmail.com

【FB】HPサイト：<https://www.facebook.com/machinakahokenshitu>

<p><b>食のセーフティーネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消事業</b></p>	<p>団体名</p>	<p>まつどフードバンク</p>
<p>事業費 143,510 円</p>	<p>自己資金 43,510 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
<p><b>令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余っている食べ物と食料に困っている人を結ぶ仲介役となり、余っている食べ物を持っている企業や農家、一般家庭などの支援者と食べ物を必要としている生活困窮者をつなぐ食料支援活動をし、生活困窮者と食品ロスの問題解消に取り組んだ。</li> <li>・企業・農家・一般家庭等から余った食品や食材を譲り受けたり、フードドライブを開催した。</li> <li>・生活困窮者や子ども食堂等に食品や食材をお届けしたり、フードパントリーを開催した。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p><b>令和3年度（2021年度）事業の成果</b></p> <p>① フードバンクの利用者が増える（生活困窮者が減る）</p> <p>【年間フードバンク利用者】目標：個人 40 人/団体 60 団体 結果：個人延べ 311 人/団体延べ 113 団体</p> <p>【年間フードパントリー利用者】目標：60 人 結果：延べ 82 人</p> <p>【年間イベント参加者】目標：60 人 結果：延べ 266 人</p> <p>・コロナ禍ということもあり、フードバンクの利用者が増加した。</p> <p>② フードロスが減る（取扱量が増える）</p> <p>【年間フードロス】目標：提供量 2.0 トン＝削減量 2.0 トン 結果：提供量 3.8 トン＝削減量 3.8 トン</p> <p>【年間譲り受けた支援量】目標：＝1.0 トン 結果：＝3.9 トン</p> <p>【年間フードドライブ収集量】目標：＝1.0 トン 結果：＝0.4 トン</p> <p>・フードロスもフードバンクの利用者が増えたため、取扱量が増えフードロスが減った。</p>		
<p><b>【団体紹介】</b></p> <p>私たちは、生活困窮者と食品ロスをなくすため、余った食品・食材を必要な人へ届け、みんなが豊かに暮らせる社会をつくることを目的とした活動をしています。食料提供の支援や活動資金の支援により活動が成り立っております。どうか暖かいご支援をよろしくお願いいたします。</p> <p>会員やボランティアの募集もしておりますのでお気軽にご連絡ください。</p> <p>《問合せ先》</p> <p>団体名：まつどフードバンク 住所：松戸市東松戸 3-13-1-105          電話：090-4498-2654 FAX：047-392-5656 Email:matsudo.fdbk@gmail.com          URL：<a href="https://matsudofdbk.web.fc2.com/">https://matsudofdbk.web.fc2.com/</a> 担当者名：南澤正久</p>		

<p>[生きづらさ・ひきこもり] からだところに栄養をあた える場づくり事業</p>	<p>団体名</p>	<p>生きづらわーほりプロジェクト</p>	
<p>事業費 129,497円</p>	<p>自己資金 43,550円</p>	<p>助成金</p>	<p>85,947円</p>
<p><b>令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】</b></p>			
<p>【目的】ひきこもり当事者に向けて、みんなで料理して食事を「つくり」、美味しく「たべて」、おしゃべりして「わらい合い」、「リラックス」して過ごす場をつくることで、からだところに栄養を与え、社会につながっていくためのエネルギーが得られるようにする。</p>			
<p>■ 生きづら Cooking-Meeting 「つたわり」・「つたわりミニ」 4～10月にかけては、新型コロナウイルス感染症の状況を受け、対話を中心とした内容に簡素化した「つたわりミニ」を開催しました。ボードゲームを用意したり、オンライン会議（ZOOM）を並行開催したりして、より参加しやすい場になるよう工夫しました。11月からは当初計画していた「つたわり」を開始。みんなで料理を作って食べることにより、ひきこもり当事者が会話・交流しやすく、楽しく過ごすことができる場を作りました。</p>			
<p>■ ハート to ハートまつど懇談会 ひきこもり当事者・経験者のほか、ご家族、支援関係者、その他ひきこもりに興味・関心のある方が参加して対話交流するイベント「ハート to ハートまつど懇談会」を2月に開催しました。今回新たにオリジナルワークショップ「10年後ゲーム」を制作し、他の市民団体の協力のもと実施しました。架空のひきこもり当事者が現在から10年後までどのような人生を歩むかを参加者同士で話し合いながら、当事者が困っていることや難しさを認識したり、選択肢や可能性についてアイデアを出したり、既存のサポート情報や事例などを紹介したりして、ひきこもり当事者のいろいろな生き方についてみんなで考え、シェアしました。</p>			
<p><b>令和3年度（2021年度）事業の成果</b></p>			
<p>・「つたわり」「つたわりミニ」は毎月1回開催し、参加者は合計で39人でした。繰り返し参加される方も多くいて、当事者の身近に「安心して過ごせる場・話せる場」を作ることができました。 ・「ハート to ハートまつど懇談会」の参加者は7人でした。ワークショップを実施することで、参加者同士の対話を促進し、考えを深め合うことができました。</p>			
<p><b>【団体紹介】</b></p>			
<p>ひきこもりやうつ等により孤立し、生きづらさを感じている人たちに対して本人の想いや行動をサポート・アシストすることによって、本人が抱えている生きづらさがやわらぎ、地域や社会で生き活きと暮らしていけるようになることを目指して活動しています。</p>			
<p>《問合せ先》</p>			
<p>生きづらわーほりプロジェクト</p>			
<p>[メール] zurahori@yahoo.co.jp [HP] <a href="https://ikizura-wh.jimdofree.com/">https://ikizura-wh.jimdofree.com/</a> [担当] 富安</p>			

各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業	団体名	北小金ドリームプロジェクト
---------------------------	-----	---------------

事業費	53,534円	自己資金	5,552円	助成金	47,982円
-----	---------	------	--------	-----	---------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

- ・北小金の既存団体や企業と連携し、北小金の魅力を在住者はもちろんのこと、松戸市内及び松戸市外にアピールし、あじさいや紅葉時期だけではなく北小金に足を運んでもらえる活気ある街づくりを行うために計画していたハロウィンイベント・クリスマスイベントはコロナ禍のために断念した。
- ・隔月で開催予定だった朝市は、メインの野菜販売農家さんより夏場は野菜の収穫が難しいこと、外での開催は梅雨時期の予定が立てづらいことにより隔月開催を断念した。また感染者数増加による朝市を中止後、日中開催の北小金ドリームマルシェに変更したが、こちらも1回の延期を含め結局、まん延防止が発令されていたため開催を断念した。
- ・2020年の第1回目緊急事態宣言時に飲食店を応援するプロジェクトを発足し、テイクアウト情報やイートイン情報を発信していたが、2021年7月からは飲食店のみに限定せず北小金周辺の全ての店舗を対象に情報発信を北小金応援プロジェクトとして発信している。また、インスタグラム・ツイッター・ブログにおいても北小金の街情報などを発信している。



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

- ・全てのイベントをコロナ禍によりやむなく中止をしたため、イベントを通じて北小金の魅力を伝えることが出来なかった。
- ・北小金応援プロジェクトのフェイスブックグループへの投稿を飲食店のみだけではなく、全業種にしたことでフォロワー数も増えて好評を得ている。SNSのフォロワー数はフェイスブック420名、インスタグラム750名、ツイッター296名（3月現在）でさらに北小金応援プロジェクトは833名となっており、合計2,272名と昨年の約1,500名から大幅に増加したので、SNSでの発信の重要性を再認識した。

**【団体紹介】**

北小金駅周辺の商店及び事業を営む者が、活力と魅力ある地域づくりをめざし、地域経済の発展を次世代にも繋げていけるよう活動しています。

《問合せ先》

北小金  ドリームプロジェクト  
Matsudo

kitakogane.dream.pro@gmail.com

https://www.kitakogane.com/

遠山



<p>坂川水系自然環境向上事業</p>	<p>団体名</p>	<p>坂川の花桃を愛する会</p>
---------------------	------------	-------------------

<p>事業費 111,276 円</p>	<p>自己資金 19,827 円</p>	<p>助成金 91,449 円</p>
----------------------	----------------------	---------------------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

流山市野々下から新松戸の北西部を通り江戸川に流れ込む「坂川」が多くの魚が住む豊かな川になるよう、私たちは2021年11月27日に「モロコの稚魚」10Kgを放流しました。

放流当日は新型コロナウイルス感染防止のため人数を絞り、小学生と保護者など50名余りが参加。放流前の「綿菓子作り体験」やビンゴゲームを楽しんだ後、「横須賀親水護岸」から「大きくなれよ！」と声掛けしながらモロコを放流。放流後は「ガガイモ」の種子の綿毛を、それぞれが願いを込めて澄んだ秋空に飛ばしました



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

坂川水系に適した生物（川魚の稚魚）を放流し、自然環境向上を図るとともに、地域の子ども会等の協力を得て、多世代が交流を持てる機会として環境意識の向上を図り、併せてコミュニケーションエリアにすることを目的に、これまでもナマズの放流や横須賀親水護岸子どもフェスタなど、毎年100人余りの子ども達が参加する事業を行ってまいりましたが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため参加人数を絞り、Eボートの乗船体験なども行いませんでした。

そんな厳しい状況の中でしたが、参加した子ども達は、家族と一緒に放流やゲームなどを楽しみながら、坂川に一層愛着を感じてくれたことで、この事業の目的は達せられました。

**【団体紹介】**

新松戸七丁目地域の住民を中心に、地域内を流れる「坂川」の土手に植えられている花桃の保護・育成と、坂川河畔の美観を守るための活動を行う団体として2010年に発足。以来、花桃の保護・育成や河畔の清掃活動の他、住民の交流の場として春の「花桃まつり」や秋の「文化講演会」の開催、小学生には「出前講座」や「稚魚放流」、「子どもフェスタ」などの事業を積極的に行っています。

《問合せ先》

団体名：坂川の花桃を愛する会 住 所：松戸市新松戸7丁目西パークハウスA807

会 長：太田隆義 電 話：090-1053-0912

メール：taka.niko.ota@gmail.com

松戸市民向け SDGs普及啓発事業	団体名	まつど地域活躍塾つながりの会
----------------------	-----	----------------

事業費	103,593円	自己資金	17,893円	助成金	85,700円
-----	----------	------	---------	-----	---------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

市内活動団体・企業とネットワークを形成し5つのテーマで活動推進。

(1) SDGsネットワーク形成（5月9日）

- ・松戸市内の活動団体に協働推進の呼びかけ、13の団体・企業の参加表明。SDGs推進ネットワークを形成。



(1) ネットワーク形成ミーティングの様子

(2) スタディツアーを通じた能力の向上（8月3日）

- ・オーガニックなまちづくり推進の木更津市とオンライン情報交換。
- ・松戸側14名参加。終了后感想・提言聴取し、松戸市とSDGs情報交換に活かす。



(4) SDGs基礎講座での企業講座の様子

(3) 松戸市民向けSDGs教材に関する意見交換・議論（8月28日）

- ・次年度作成に向けての骨子づくりのオンライン意見交換。8名。
- アイデアはJamboardにピックアップし共有化。次年度作成に反映。

(4) 松戸市民向けSDGs基礎講座2回開催（10月、11月）

- ・SDGs推進ネットワーク形成の団体・企業が講座講師を担当。
- ・2030SDGsカードゲーム、アクションプランを採用。



(5) 講演終了後の意見交換の様子

(5) 松戸市民向けSDGsフォーラムのハイブリッド開催（2月23日）

- ・松戸市後援。行政、企業、地域社会、学校・学生などの多彩な発表者。講演終了後の意見交換も活発。参加者52名（内オンライン参加20名）

**令和3年度（2021年度）事業の成果**

(1) SDGsネットワークの形成：10以上の団体参加目標で13団体参加。

(2) スタディツアーを通じた能力の向上：SDGs啓発アイデア3つ以上出す目標。振返りシートに記載された項目点数はほぼ満たしている。

(3) 松戸版市民向けSDGs教材に関する意見交換・議論：意見交換しアイデアの共有迄進む。

(4) 松戸市民向けSDGs基礎講座の開催：講座での学びを自己のSDGsアクションプランに活かすことを目標。参加者自体のアクションプラン作成は実施し、SDGsの理解が深まったと好評。

(5) 松戸市民向けSDGsフォーラムの開催：50名程度の市民参加目標。参加者52名。

テーマ(1)～(5)で数値的には目標の9割達成。テーマによって参加者が想定より少なかった、結果や方向性の共通認識の議論がやや少なかったことを考慮すると、全体として8割～8.5割達成とみる。

**【団体紹介】** 「まつど地域活躍塾」の修了生有志による団体。修了生の地域での活動・活躍を支援し、地域の活性化に寄与することを目的とする。松戸市民がSDGsに関心を持ち、個々の行動がSDGsにつながることを目指し、市内の活動団体相互に連携して普及啓発活動を行なっている。

《問合せ先》【まつど地域活躍塾つながりの会】

住所：松戸市五香南3-29-5 電話：090-6509-1615 eメール：sahihu@gmail.com  
Facebook: <https://www.facebook.com/matsudo.tsunagarinokai> 担当者：佐藤秀樹(代表)

松戸市町会 PR 動画制作事業	団体名	できる街プロジェクト
-----------------	-----	------------

事業費 202,057 円	自己資金 102,057 円	助成金 100,000 円
---------------	----------------	---------------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

- ・活動を知ってもらうためのプレスリリースを実施  
→制作発表（6/24）、アニメ公開（12/16）
- ・動画制作者募集  
→6/8に募集を開始。57名の応募をいただきました。  
→1人ずつ面談を行い、イラスト・映像・動画制作・配信など希望する内容で今後一緒に活動できることとなりました。
- ・動画制作&公開  
→松戸市の町会活動の内容や意義についての内容を中心に紹介しています。  
→6月～8月に町会・自治会活動のヒアリングを行い、脚本を制作しました。  
→9/23に音声収録を行いました。  
→第1話（11/30）、第2話（12/24）、第3話（1/31）、第4話（2/28）に動画を公開しました。



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

・動画の視聴回数：20,750回

課題である松戸市民への町会活動の認知度向上・町会加入率の低下を防ぐことは、現時点では、加入率の低下を防ぐほどの成果は出ていません。

動画は、直接的に町会・自治会加入率の低下を防ぐための内容ではありませんが、「町会・自治会」というものがどんなものでどんな役割があるのかについてわかりやすい内容にできました。今後活動を続け、より多くの方が町会・自治会を知る機会を作ります。そして、町会活動の認知度向上・加入率の低下を防げるよう、課題解決につなげられる活動にしたいと考えます。

**【団体紹介】**

2015年10月設立のNPO企画団体・市民公益活動団体。地域活性化を主な目的として、プロアマ問わずクリエイターが多く在籍し、アニメ・漫画を使った市のPR活動、障害者支援、引きこもり支援など多岐にわたり活動。

《問合せ先》

【団体名】できる街プロジェクト【TEL】090-4966-5535【MAIL】project@dekimachi.com

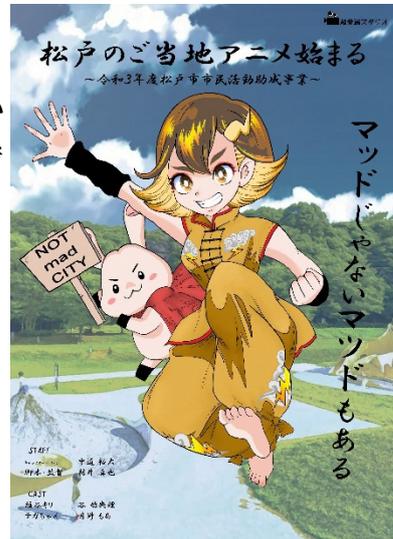
【HP】https://dekimachi.com/【担当者名】村井 真也

松戸市ご当地アニメ制作事業	団体名	超普通スタジオ
---------------	-----	---------

事業費	213,425 円	自己資金	113,425 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	-----------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

- ・ 作品の制作発表  
→松戸に縁のある声優オーディションの開催、プレスリリースを行いました。声優オーディションの最終審査は、一般市民からの投票型で行い、1,367名からの応募をいただきました。
- TV報道は4回、新聞などでの記事掲載は2回されました。
- ・ PRアニメの制作・公開  
→超普通都市マツド伝説第1話を制作し、SNSで公開しました。
- 【作品概要】松戸のご当地アニメ。実在する松戸市を舞台にその場の紹介・PRを行うギャグ物語。
- 【ストーリー】松戸のラーメン屋の娘、中学2年生の柱谷キリが出前の帰りで見つけたのは捨て猫と不思議ないきものテガちゃん。動物愛護問題に真面目に触れながら、ギャグ満載の第1話。



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

- ・ この作品を知る人の数を増やすという目的での声優オーディション応募数：117人
- ・ 超普通都市マツド伝説アニメ関連動画の視聴回数：48,890回

事業課題である「松戸市のありとあらゆる人たちのつながりを作る」「松戸が住みよい街になる」に関し、「声優オーディションにおいて松戸に縁のある声優117名の応募があったこと」「声優オーディションの投票総数1,367票だったこと」「アニメの視聴回数が延べ48,890回だったこと」から課題である松戸におけるつながりづくりについて第1歩を行うことができました。

**【団体紹介】**

2020年4月設立の企画団体。『若者を中心とした市民に有益で効果的な情報発信』を軸に地域活性化を目的としたご当地作品（漫画・アニメ）制作を行う団体です。

《問合せ先》

【団体名】超普通スタジオ

【TEL】090-5476-4356 【MAIL】chohutsu@gmail.com

【HP】https://chofutsu.dekimachi.com/ 【担当者名】楠本 慶彦

「いきいき体操」事業	団体名	特定非営利活動法人 アイギス
------------	-----	-------------------

事業費	154,537円	自己資金	59,542円	助成金	94,995円
-----	----------	------	---------	-----	---------

### 令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】

毎月第2、第4日曜日 午前10時～11時30分 梨香台団地集会所にて体操教室を開催しました。

特にひとり住まいの方、精神面も含めて、交流の場所づくり、一人でも多くの方に参加していただくために努力しました。



### 令和3年度（2021年度）事業の成果

コロナ対策を第1に考えての1年でした。入場者の手の消毒、体温の調整、備品等の消毒など、大変な1年でしたが、1年間活動をやり遂げることができました。

#### 【団体紹介】

ふれあいサロン運営をしています。

午前10:00～午後4:00（「かけこみ寺」とも呼ばれています）

#### 《問合せ先》

特定非営利活動法人アイギス 〒270-2222 松戸市高塚新田 494-13-10-103

電話 047-392-6055 斉藤 久子

<p>全ての命を大切にして、人との繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業</p>	<p>団体名</p>	<p>松戸地域猫スタートサポート</p>
--	------------	----------------------

<p>事業費 521,498 円</p>	<p>自己資金 325,402 円</p>	<p>助成金 196,096 円</p>
----------------------	-----------------------	----------------------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

地域猫活動は猫の繁殖抑制活動だけではなく、動物を通じて環境保全や小さな命の大切さを子供達にも知ってもらう事も、活動の重要な役目だと僕たちは考えます。

命に対する考え方の格差は人間関係や治安の悪化など幅広く影響してくると言われています。

令和3年度も松戸市内の公共施設を巡り、市民の皆様と情報交換や相談会を開催しました。動物愛護法を守りながら飼い主のいない猫を安全に捕獲する方法と繁殖をして不幸な命が増えないように不妊方法を基本にお伝えし、猫の飼い方や里親さんの探し方など、地域猫活動とは何をするのかを一通りの流れを皆様にご紹介しました。

私たちは飼い主のいない猫が減る事でご近所のトラブルも無くして基礎から住みやすい街づくりが必要だと考えています。

既に活動をされている方々からのご相談や協力要請など幅広くお手伝いも続けています。

長く活動を続けていますと町会レベルで相談会開催のご要望も頂いています、地域猫活動の基本は地域レベルですので町内会館での開催も今後は増やせていけたら良いと考えます。令和3年度は企画していた地域包括支援センターとの開催など大胆な周知活動について調整がうまく出来なかったため、令和4年度は活動の周知を改めて実施し、まだまだ知られていない多くの市民の皆様にも参加して頂きたいと考えています。



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

タイムリーに悩まれている方が増え電話相談がとて多かったので、問題化する前の予防としても地域猫活動を理解して頂きたい思いが強まりました。会場参加と電話相談時にアンケートを取った結果98%の方は地域猫活動に対して理解できてとても為になったという結果になりました。計画していた市内の地域包括支援センターにも引き続きご協力いただきたいと思い、令和4年度も幅広く地域猫活動を知っていただくための協働開催を進めております。

**【団体紹介】**

飼い主のいない屋外猫（野良）は野生ではありません。今の時代は法整備により刑事罰になりますが、身勝手な人間がきちんと最期まで家族として面倒を看ずに遺棄をして屋外猫は増えていきます。

人間の責任として『動物が好きだから、苦手だから、どうでもいい』と考えるのではなく環境美化や治安悪化防止、子供の心の教育などと広く結びつけて考え、皆が住みやすい街づくりの1つとして、飼い主のいない猫が増えないようにする事に御理解と御協力をお願いします。この活動でご近所トラブルも無くしましょう！

《問合せ先》松戸地域猫スタートサポート

電話番号：080(3405)8986 担当：川野ひろし

Webサイト→



<p>親子で安心、子ども達が 楽しく育つ居場所づくり事業</p>	<p>団体名</p>	<p>なないろのもり</p>
--------------------------------------	------------	----------------

<p>事業費 414,052円</p>	<p>自己資金 114,052円</p>	<p>助成金 300,000円</p>
---------------------	----------------------	---------------------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

感染状況によって開催時期を分散、延期。臨機応変に対策を講じて活動を継続しました。

- ①夏のワークショップ・夏まつり【緊急事態宣言で延期、秋のワークショップ・春まつりとして実施】
- ②居場所の開催【コロナ禍で行き場を失い、未就園児とママたちからの声と継続的に借りることができる開催場所の環境がマッチしたので、対象を限定し、おやこのにわとして開催】
- ③クリスマスフェスティバルの実施【完全予約・入場3部入替え制など開催方法を変更して実施】

①秋のワークショップ・春まつり



②居場所の開催



③クリスマスフェスティバル



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

- ①講座・ワークショップの参加人数は（目標：80名→結果：155名）
- ②パフォーマンスグループ（目標：1~3グループのべ15人）の居場所事業の開催は、内容を変更し、未就園児と保護者に限定し、結果：のべ36名の来場がありました。
- ③イベントのべ来場人数は（目標：500人→結果：1000人）人数制限、分散化させ完全予約制にし、昨年に続きオンライン観覧も併用しました。結果、参加者の延べ人数は目標2倍でした。

**【団体紹介】**

子育てが楽しいと感じる街づくりを目標に、親子で一緒に楽しめ、人と人が繋がるイベントを開催。地域と繋がり、今しかない子育ての時期を楽しめる環境づくりを目指して活動しています。

《問合せ先》

団体名：なないろのもり

Eメール：7iromori@gmail.com

ホームページ：http://7iromori.jimdo.com/

プレママ教室事業	団体名	ぶぶぶママ大学
----------	-----	---------

事業費	325,387円	自己資金	34,869円	助成金	290,518円
-----	----------	------	---------	-----	----------

**令和3年度（2021年度）事業の取り組み【報告】**

事業計画に従い取り組むことができました。

○ビジュアル講座

・ビジュアル講座は、予定より多くの内容を撮影・編集し、内容を充実することができました。企画構成は、1クール8週<2か月>で、毎回内容を変えて飽きないように工夫を入れ、1回の参加もできる形式にしました。配信は、当初約90分の内容を4時間のYouTubeに限定配信をしていましたが、11:00~23:00まで配信時間を拡大し、参加者の都合の良い時間に観てもらうようにしました。毎週日曜日の配信でしたが、視聴者からのご意見を踏まえて、金曜日にも配信日としました。

○対面型のプレママパパ講座

・年4回の対面講座を3回に変更し、6/27、11/28、3/27に実施。（9/19は緊急事態宣言下で中止）対面講座の内容は、助産師の鎌田智子さんによる『母乳育児の気持ちの準備』の講話と、金ヶ作熊野神社宮司さんによる『あかちゃんと家族のためのお祝い行事』の講話と、希望者へ安産祈願を無料でしていただき、予定通り実施できました。

○PR冊子

・オキシトシンホルモンをテーマに、親しみやすさとわかりやすさをコンセプトに絵本冊子を企画しました。企画と構成はぶぶぶママ大学スタッフ、絵は友人の紹介から絵本『ぷあぷあ』を描いた鎌田光代さんに描いていただきました。内容と表現は、助産師の鎌田智子さんとスタッフで担当しました。



**令和3年度（2021年度）事業の成果**

目標達成には少し及びませんでした。前年度に比べると参加が増え、任意のアンケートはたくさんの好意的な感想を頂きました。対面講座では、参加者から、おなかに話しかけていますや、歌の胎教をしています等と、おなかのあかちゃんとのコミュニケーションを楽しまれている妊婦さんが増えました。

**【団体紹介】**

より良い出産と子育ての支援をしている団体です。

《問い合わせ先》

母乳育児・アタッチメント研究会 ぶぶぶママ大学 only-one\_e3-373@ezweb.ne.jp

ホームページ（ぶぶぶママ大学 bububumamadaigaku.com）担当 佐々木

# ＊協働のまちづくり基金＊

令和3年度は 市民活動助成事業

17事業 を応援しました！！

スタート助成				
みんなで育て、みんなで作る 沿道での食べられる景観事業 <a href="#">P4</a>	居場所提供と家出女性保護事業 <a href="#">P5</a>	冒険山開放に伴う見守り事業 <a href="#">P6</a>	発達障がい・不登校の親の会事業 <a href="#">P7</a>	働くおとなのホッとできる居場所づくり事業 <a href="#">P8</a>
食のセーフティーネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消事業 <a href="#">P9</a>	〔生きづらさ・ひきこもり〕からだどころに栄養をあたえる場づくり事業 <a href="#">P10</a>	各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業 <a href="#">P11</a>	坂川水系自然環境向上事業 <a href="#">P12</a>	松戸市民向けSDGs普及啓発事業 <a href="#">P13</a>
松戸市町会PR動画制作事業 <a href="#">P14</a>	松戸市ご当地アニメ制作事業 <a href="#">P15</a>	いきいき体操事業 <a href="#">P16</a>		
ステップアップ助成				
全ての命を大切に、人との繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業 <a href="#">P17</a>	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業 <a href="#">P18</a>	プレママ教室事業 <a href="#">P19</a>		

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりほとんど活動できなかった事業については掲載していません。

## 【 協働のまちづくり基金とは 】

市民、市民活動団体、事業者の皆様から寄せられた寄附金及びその同額を市費で積み立てるマッチングギフト方式を取り入れた基金です。この基金がまちを明るく元気にする「市民活動助成制度」の原資となっています。

市では、皆様からの寄附金のほか、チャリティー自動販売機の設置を通じて基金を育成しています。市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

[HP](#)松戸市トップページ ▶ [暮らし](#) ▶ [市民活動](#) ▶ [協働のまちづくり](#)（市民活動の活性化と協働の推進） ▶ [協働のまちづくり基金](#)

[http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou\\_machidukuri/kikin/index.html](http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/kikin/index.html)

# 令和3年度 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(敬称略)

ご寄附いただきました皆様にお礼申し上げます。

- ・ 東京キリンビバレッジサービス株式会社
- ・ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
- ・ 洗濯屋あべ
- ・ サントリービバレッジサービス株式会社
- ・ 株式会社伊藤園
- ・ チャリボンを通じて寄附にご協力いただいた皆さま
- ・ メルカリ寄付を通じて寄附して下さった皆さま
- ・ ※公開希望のみ掲載





# 松戸市協働のまちづくり基金 寄附募集中！！

豊かで元気な松戸市を目指して、市民活動を寄附で応援しませんか？  
いただいた寄附は、市内で地域課題の解決のために活動する団体に助  
成金として交付されます。

「協働のまちづくり基金」は、皆さんからいただいた寄附金と、その寄附金と同額を市の財源  
から合わせて積み立てる「マッチングギフト方式」を取り入れています。



## 寄 附 の し か た

### ・チャリティー自動販売機 で寄附する！

市内に16台あるチャリティー自動  
販売機で飲み物を購入すると、売上  
金の一部が寄附されます。



まつど市民活動  
サポートセンター  
などに設置しています。



松戸市協働のまちづくり基金について  
詳しくは市ホームページで

### ・チャリボン で寄附する！

いらなくなった本をチャリボンに送  
ると、その本の買取査定額が寄附さ  
れます。



**CHARITY  
BY THE BOOK**

### ・メルカリ寄付 で寄附する！

メルカリで出品した商品の売上金  
を、メルペイ残高を通じて寄付で  
きます。



### ・窓口で寄附する！

市役所の窓口や銀行振込で直接基金  
に寄附できます。

寄附をお待ち  
しています！



令和4年5月

発行

松戸市 市民部 市民自治課

〒271-8588 松戸市根本387-5

TEL 047-366-7318

FAX 047-704-4009

E-mail [mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp)